

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
 代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰
 (J A S D A Q ・ コード番号 2694)
 問合せ先 常務取締役 川上 一郎
 (TEL . 022 - 237 - 5566)

業績予想の差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日 ~平成 21 年 3 月 31 日) の業績について、平成 21 年 1 月 30 日に公表いたしました業績予想との差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。
 また、特別損失の計上についても併せてお知らせいたします。

記

1 . 平成 21 年 3 月期通期業績予想数値との差異 (平成 20 年 4 月 1 日 ~平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,070	694	949	481	12.93
今回発表実績値(B)	13,429	596	786	34	0.93
増 減 額 (B - A)	641	98	163	447	-
増 減 率 (%)	4.6	14.2	17.1	92.8	-
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	14,050	964	1,123	1,021	27.44

2 . 差異が発生した理由

当事業年度におけるわが国経済は、世界的な金融不安を背景に世界経済が急激に減速し、特に第 3 四半期以降は、企業収益の大幅な悪化を受け、雇用情勢の悪化、失業率の悪化など实体经济への影響が顕在化された結果、個人消費は低位で推移いたしました。このような景気の閉塞感が今後も続くことを前提として当事業年度においては新規出店を抑制いたしました。

売上高につきましては、外食事業の新規出店については当初 24 店舗を計画しておりましたが、15 店舗に留まりました。また、第 4 四半期に不採算化した店舗 10 店舗を閉店するなど、当事業年度内に 14 店舗を閉店いたしました結果、13,429 百万円 (当初予想比 641 百万円の減少) となりました。

利益につきましては、上記のとおり出店計画が抑制されたため支払地代家賃、人件費、広告宣伝費等が当初の予想より減少したものの、既存店の売上が予想を下回ったことによる利益率の低下により、営業利益は 596 百万円 (当初予想比 : 98 百万円の減少) 経常利益は 786 百万円 (当初予想比 163 百万円の減少) となる見通しです。また、既存店売上が予想比マイナスで推移したことによる、減損検討店舗の拡大、回収可能額の見積もりの見直しを行った結果、523 百万円の特別損失を計上することとなり、当期純利益は 34 百万円 (当初予想比 : 447 百万円減少) となりました。

3. 特別損失の計上

当事業年度においては、景況感の急速な悪化の影響を受けたこと、競争が激化したことなどが原因で店舗の収益性が悪化いたしました結果、不採算店舗の閉店、不調業態から好調業態への業態転換を進める中で減損損失の計上、及び店舗閉店損失引当金の繰入を実施しております。以上の内容を主要因として、下記のとおり特別損失 523 百万円を計上する見通しとなりました。

減損損失：462 百万円

店舗資産である建物、構築物等、並びに投資不動産の減損

店舗閉店損失引当金繰入：35 百万円

閉店を決定した店舗の原状回復費等閉店に伴うコストの引当金

その他：35 百万円

以 上